

目標14

市域のCO₂排出量を平成32年度(2020年度)までに約1,165千tCO₂(平成2年度(1990年度)の80%)にします。(平成2年度排出量:1,456千tCO₂)

目標15

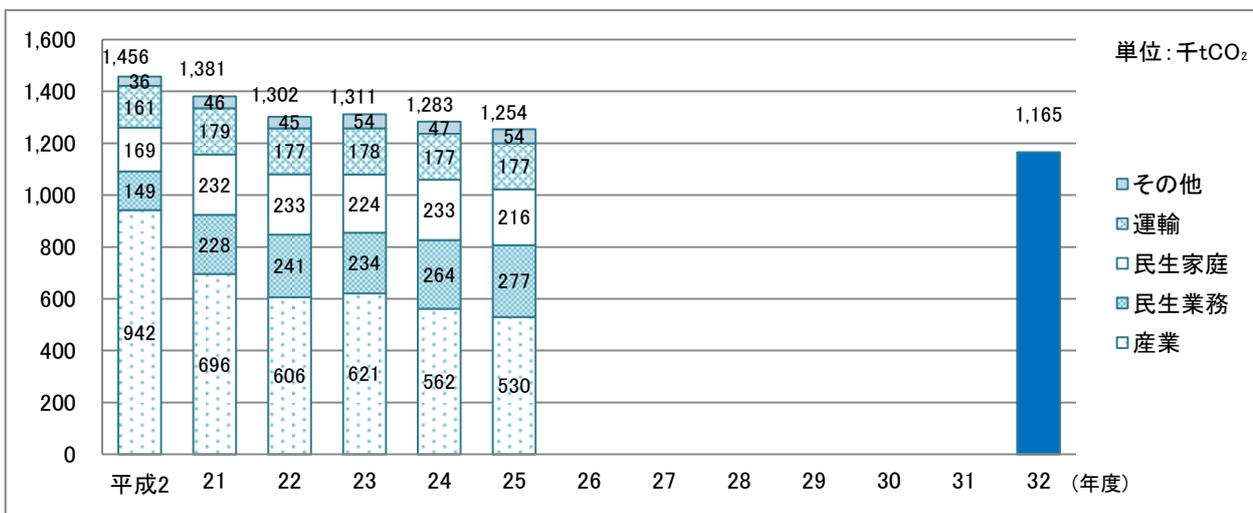
「ちがさきエコシート(※)(茅ヶ崎市環境家計簿)」から1世帯・1事業所あたりのCO₂排出量を把握し、前年に比べエネルギー使用量を削減できた家庭・事業者の数を増やします。

【目標担当課:環境政策課】

目標14の進捗状況

●市域のCO₂排出量の推移

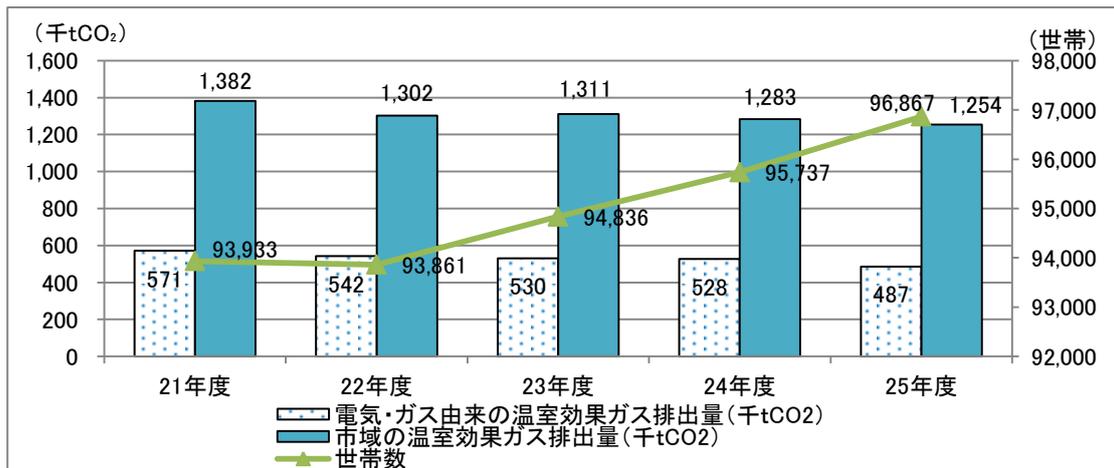
	基準値 (平成2年度時点)	目標値 (平成32年度)	現状値(暫定値) (平成25年度)
市域のCO ₂ 排出量 (基準値との比較)	1,456千tCO ₂	1,165千tCO ₂ (△20%)	1,254千tCO ₂ (△14%)



* 電気の排出係数は、環境省発表の平成21年度実排出係数(0.000384)を使用し算出しています。

* 市域の二酸化炭素(CO₂)排出量は「都道府県別エネルギー消費統計」(資源エネルギー庁より公表)を基に算出しており、この統計データの最新年度が平成25年度のものとなることから、市域のCO₂排出量データの最新年度も平成25年度となります。

(参考)



■目標15の進捗状況

●エネルギー（電気）使用量の前年度との比較

●月毎のエネルギー（電気）使用量を前年度よりも削減できた世帯数（※1）

	26年度		27年度		削減できた割合 の前年度比	（参考）気温の前年比（※2）	
	削減できた世帯数 ／データ数	削減できた割合	削減できた世帯数 ／データ数	削減できた割合		日平均	日最高平均
4月	0 / 0	-	0 / 0	-	-	-	-
5月	0 / 0	-	0 / 0	-	-	-	-
6月	23 / 41	56.1%	0 / 0	-	-	-	-
7月	16 / 41	39.0%	69 / 106	65.1%	増加	-0.5	-1.2
8月	27 / 44	61.4%	26 / 110	23.6%	減少	0.7	1.1
9月	34 / 45	75.6%	35 / 110	31.8%	減少	0	-0.6
10月	0 / 0	-	0 / 0	-	-	-	-
11月	0 / 0	-	0 / 0	-	-	-	-
12月	0 / 0	-	0 / 0	-	-	-	-
1月	0 / 0	-	0 / 0	-	-	-	-
2月	0 / 0	-	0 / 0	-	-	-	-
3月	0 / 0	-	0 / 0	-	-	-	-
累計	100 / 171	58.5%	130 / 326	39.9%	減少		

※1平成26年度、27年度に提出された「ちがさきエコシート（茅ヶ崎市環境家計簿）」から、電気使用量について前年度との比較ができるデータを抽出し集計しています。

※2気象庁ホームページより。測定値は仕堂。単位は度。

ちがさきエコネットのホームページ

重点施策27 情報発信・啓発活動の推進

概要

- ・家庭・事業所における自主的かつ効果的な地球温暖化防止の取り組みを促すため、市のホームページ等を通じて、省エネや新エネルギー(※)の利用に関する情報を定期的に発信します。
- ・省エネナビ等の省エネツールの利用を継続的に普及推進します。
- ・市で導入した電気自動車等を活用し市民意識の向上を図るとともに、事業者との連携・協力のもと、電気自動車の普及に向けたインフラ整備を図ります。

平成27年度の取り組み

①家庭や事業所に対する、省エネや新エネルギーの利用に関する情報発信

事業名	取り組み結果	担当課
地球温暖化対策ポータルサイト「ちがさきエコネット(※)」の運用	<ul style="list-style-type: none"> ・予定どおり平成27年4月よりサイトの運用を開始し、広報紙やタウンニュースによる周知、市民2,000人と事業者1,000社に対して実施している省エネルギー・地球温暖化対策に関する意識調査へのチラシの同封、事業者が集まる会議での周知、市内事業所への直接の依頼、各種イベントでの周知、市ホームページにおけるメール配信サービスの活用等、様々な周知活動を行った結果、平成28年3月末時点でのエコファミリー(家族会員)の参加世帯が116世帯、エコ事業者(事業者会員)の参加が5事業者となりました。 	環境政策課
広報紙、地域紙、ホームページなどを活用した情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ちがさき環境フェア2015や講座等環境に関するイベント情報、省エネルギーに関する補助金等の紹介、省エネルギーを目的としたコンテスト、省エネツール貸出しの周知、緑のカーテン(※)配布のご案内、湘南エコウェーブ(※)のイベント情報、「ちがさきエコネット」に関する情報等を各種情報媒体を通じて発信しました。 ・「太陽光発電クレジット(茅ヶ崎おひさまクレジット(※))」事業について、平成27年12月に開催された湘南国際マラソンでランナーが着替え等を入れるポリ袋を提供している事業者にクレジットを購入していただき、ポリ袋の製造過程で排出されるCO2をカーボンオフセット(※)(相殺)に活用していただいた取り組みが4紙の新聞に取り上げられ、より一層の普及に向けたPRを行えることとなりました。 ・「みんなの環境基本計画特集号」において、市民の方が日常生活で実践できる省エネルギーに関する取り組みについて情報提供を行いました。 	
「電力自由化」について講演会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月からの電力小売全面自由化に向けた勉強会をNPO法人ちがさき自然エネルギーネットワーク(ちがさきREN)との共催で開催しました。(参加者35名) ・講演では、NPO法人「足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ(足温ネット)」事務局長より、ご自宅で取り組まれている省エネ事例や足温ネットで行っている「えどがわ市民発電プロジェクト(えど・そら)」のご紹介、電力自由化に向けた課題などについてお話いただきました。 	
省エネルギーを目的としたコンテストの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・年間で最も電気を消費する夏場の省エネルギー化を図るため実施しました。また、平成27年度からは冬場もちがさきエコネット登録者を対象に実施しました。 ・応募世帯: 夏21世帯(電力削減量2,172kWh、CO2削減量:1,151.2kg) 冬22世帯(電力削減量5,171kWh、CO2削減量:2,740.6kg) ・参加者からは「意識的に節電が図れた」というお声いただきました。 	
「ちがさき環境フェア2015」の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・環境市民会議「ちがさきエコワーク」との共催により開催しました。 ・市民団体、事業者、学生、市により企画実行委員会を設置し、企画および当日の運営を協働で行いました。 ・市民団体、事業者の環境活動を市民にPRする機会を提供しました。 ・出展59団体、来場者約1,600人(推計) 	
緑のカーテンの苗配付	<ul style="list-style-type: none"> ・市民243世帯に向け配付しました(1世帯につき4株、応募243世帯)。 ・実施者へアンケートを行い、市民の方々の省エネ効果に対する感想や地球温暖化対策への意識の変化を把握しました。アンケートでは「地球温暖化防止対策をより取り組もうと思った、取り組むきっかけとなった」と答えた方が回答者の74%あり、市民や事業者の地球温暖化防止や省エネ対策のきっかけづくりに寄与することができました。結果については市ホームページで公表し、広く効果を周知しました。 	

公共施設への緑のカーテン導入	・公共施設17箇所を実施し、率先して省エネルギー化に取り組むとともに、緑のカーテンのPRを行いました。	環境政策課
2市1町の連携(湘南エコウェーブ)による啓発事業	・夏休みの小学生向けイベント「みんなで森を知ろう」を日本大学藤沢キャンパスにて開催し、地球温暖化防止に関する森の役割などについて伝えることができました。 ・親子環境バスツアーで、がすてなーにガスの科学館や日清オイリオ横浜磯子事業場を、環境バスツアーで、東京ガス袖ヶ浦工場や味の素川崎工場をそれぞれ見学し、省エネルギーや、新エネルギーに関する技術や方法を伝えることができました。 ・ノーマイカーデーや、レジ袋削減の推進を行いました。	

②省エネツール利用の継続的な普及推進

事業名	取り組み結果	担当課
省エネナビ、エコワットの貸出	・広報紙、ホームページ、タウンニュースにより周知しました。 ・家庭での省エネ推進では、どれだけのエネルギーを使っているのか確認することが第一歩であることから電気の使用量が一目でわかる省エネナビ、エコワットの貸出を行い、家庭でのエネルギー使用量の「見える化」を支援しました(貸出件数:省エネナビ19件、エコワット19件)。	環境政策課

③電気自動車等を活用した市民意識の向上およびインフラの整備

事業名	取り組み結果	担当課
電気自動車試乗会の実施	・「ちがさき環境フェア2015」で開催し、普及に向け電気自動車の良さを体感していただきました(同乗体験も同時に開催)。 ・試乗体験者34名、同乗体験者1名	環境政策課
電気自動車用急速充電器の利用	・茅ヶ崎駐車場において、充電を無料で利用可能にすることで電気自動車の普及を図りました。充電器には太陽光で発電した電力を利用しているため、CO ₂ の排出削減にも寄与しています。 ・利用回数:1677回/年(27年12月まで)	
電気自動車無償貸与にかかる貸与式の実施	・日産自動車株式会社が地球温暖化対策として電気自動車の普及を目的に全国の自治体向けに実施する「電気自動車活用事例創発事業」を活用し、電気自動車1台を3年間無償で借り受けることとなりました。 ・無償貸与を記念した式典を平成28年3月に行い、市民の皆様へ電気自動車活用事例を紹介するとともに、その内容が新聞に取り上げられました。	
電気自動車の新たな活用のPR	・「ちがさき環境フェア2015」の野外エコステージにおける電源として、電気自動車に充電した電気を実際に活用することで電気自動車の多様な活用方法をPRしました。 ・市では電気自動車に充電した電気を活用するための装置「パワーボックス(※)」を3台備え、環境配慮に加え災害時の電源供給対策を進めるとともに、「ちがさき消防防災フェスティバル」などのイベントを通じて市民の方への周知を図っています。	
燃料電池自動車(FCV)普及に向けた取り組み	・「ちがさき環境フェア2015」において、水素講演会を実施し、水素をエネルギーとして活用することによる環境負荷の軽減等について周知しました。また、トヨタ自動車のFCV(※)の同乗体験も実施しました。 ・試乗体験者108名、同乗体験者4名	
電気自動車急速充電器の設置	・新しい本庁舎の建設に合わせ、本庁舎併設の駐車場内に新たに1基の急速充電器を設置しました。	施設再編整備課

■平成27年度予算執行状況

事業名	27年度予算額	27年度決算額	(参考)26年度決算額	担当課
ちがさきエコネット事業の推進	1,154千円	1,134千円	2,465千円	環境政策課
みんなの環境基本計画特集号発行(再掲)	856千円	737千円	694千円	
ちがさき環境フェアの開催	1,101千円	838千円	919千円	
自然エネルギー等普及啓発事業委託経費	150千円	150千円	150千円	
合計	3,261千円	2,859千円	4,228千円	

成果・課題と評価

成果	評価
<p>・「ちがさきエコネット」については、予定どおり平成27年4月よりサイトの運用を開始し、様々な媒体を通じてサイト開設の周知を行った多くの登録者を得ることができました。また、エコネット登録者を対象とした「省エネコンテスト」を実施し、家庭における節電に取り組んでいただきました。</p> <p>・夏場の「節電コンテスト」、冬場の「省エネコンテスト」に参加していただいた方々の電力削減量は7,343kWh、CO2削減量は3,891.8kgで、杉の木278本分に相当します。</p> <p>*14kg/本で換算（「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」農林水産省/林野庁より）</p>	<p>B</p>
<p>課題</p> <p>・各種広報媒体を活用した事業の周知、「ちがさきエコネット」の活用、省エネソールの利用促進などの取り組みを継続的かつ効果的に行うことで、より多くの家庭、事業者の皆様々に自主的に地球温暖化防止に取り組んでいただく工夫をしていく必要があります。</p> <p>・電気自動車の各種イベントでの活用や新たに貸与された電気自動車の活用状況を積極的に周知することで、電気自動車の有用性を市民・事業者の皆様にご理解いただき、電気自動車の普及を進めていく必要があります。</p>	<p>A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)</p>

親子環境バスツアーの様子



がすてなーにガスの科学館



日清オイリオ横浜磯子事業場

重点施策28 家庭・事業者における省エネ機器等の導入支援

■概要

・家庭、事業所におけるトップランナー機器、省エネ機器、新エネルギー利用設備、電気自動車等の導入・利用に対する補助金給付等を実施し、省エネルギーの推進および新エネルギーの導入拡大を図ります。

■平成27年度の取り組み

①家庭・事業者における省エネ機器や新エネルギー利用設備、電気自動車の導入等に対する補助事業

事業名	取り組み結果	担当課
住宅用太陽光発電設備設置補助事業(戸建て住宅)	<ul style="list-style-type: none"> ・交付金額:1kW(キロワット)につき1万円(上限4万円) ・交付件数:187件(当初受付可能件数:350件) ・交付総額:1,496千円 ・補助事業によって設置された設備の出力合計:867.32kW ・CO₂削減効果:437.99t 	環境政策課
住宅用太陽光発電設備設置補助事業(共同住宅)	<ul style="list-style-type: none"> ・交付金額:1kWにつき1万円(上限9.9万円) ・交付件数:0件(当初受付可能件数:6件) ・交付総額:0千円 ・補助事業によって設置された設備の出力合計:0kW ・CO₂削減効果:0t 	
住宅用太陽光発電設備パワーコンディショナ(※)交換費補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・交付金額:税抜販売価格の20%(上限6万円) ・交付件数:2件(当初受付可能件数:2件) 	
電気自動車購入補助事業(個人、事業者向け)	<ul style="list-style-type: none"> ・交付金額:1台につき7.5万円 ・交付件数:17件(当初受付可能件数:30件) ・交付総額:1,275千円 	
住宅用コージェネレーションシステム(※)、家庭用太陽熱利用設備(※)導入支援補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・交付金額:1台につき5万円 ・交付件数:99件(当初受付可能件数:100件) ・交付総額:4,950千円 	
商店会の街灯LED化に対する補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・交付対象:4商店会、151基 ・補助率:1/2 	産業振興課

②太陽光発電に関する新たな事業の展開

事業名	取り組み結果	担当課
太陽光発電クレジット制度の周知と参加者募集	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度参加世帯(53世帯)の環境価値を集計し、国からクレジット(27tCO₂分)の認証を受けました。 ・12月開催の湘南国際マラソンにてランナーの着替え等を入れる袋(エコ袋)のカーボンオフセットにクレジット(5tCO₂分)が活用されました。 ・平成27年度参加世帯数:83世帯 	環境政策課

■平成27年度予算執行状況

事業名	27年度予算額	27年度決算額	(参考)26年度決算額	担当課
太陽光発電設備設置費補助事業(戸建て住宅)	8,320千円	6,824千円	8,123千円	環境政策課
太陽光発電設備設置費補助事業(共同住宅)	594千円	0千円	97千円	
パワーコンディショナ交換費補助事業	120千円	120千円	17千円	
電気自動車購入費補助事業	2,250千円	1,275千円	2,550千円	
エネファーム、エコウィル、強制循環型太陽熱温水器導入支援事業費補助事業	5,000千円	4,950千円	5,050千円	
太陽光発電設備普及啓発基金積立金(平成26年度末積立累計額:3,949,839円)	1,444千円	1,443千円	1,188千円	
自然エネルギー等普及啓発事業委託(再掲)	150千円	150千円	150千円	産業振興課
商店会街灯LED化に対する補助事業	13,543千円	12,010千円	232千円	
合計	31,421千円	26,772千円	17,407千円	

成果・課題と評価

成果	評価
<ul style="list-style-type: none"> 各種補助事業について、住宅用、共同住宅用太陽光発電設備設置費補助金、電気自動車購入費補助金は予定件数に達しませんでした。住宅用コージェネレーション設備はおおよそ予定件数に達し、パワーコンディショナ交換費は予定件数を達成しました。 太陽光設備設置補助事業によるCO₂削減効果は437.99tで、スギの木約31,285本分に相当します。 *14kg/本で換算(「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」環境省/林野庁より) 太陽光発電クレジット制度は、27tCO₂分のクレジットが認証され、うち5tCO₂を湘南国際マラソンのエコ袋のカーボン・オフセットに活用しました。 30件の新規参加世帯を得ることができ、合計83件となりました。 	B
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電設備設置に対する補助件数は減少傾向にあります。原因としては補助制度の減少による初期費用の増大と固定価格買取制度の余剰売電額の減額が主なものと考えられますが、社会情勢や技術の向上等を注視し、補助内容を精査する必要があります。 設備導入による省エネ効果や付加価値を積極的にお伝えしていく必要があります。 太陽光発電クレジット制度への参加者が少ない状況にあります。原因として、制度の周知が十分でないことに加え、手続きが煩雑であることが挙げられます。より多くの市民の方に参加していただけるよう工夫していく必要があります。 太陽光発電クレジット制度にご協力いただける世帯・事業者を引き続き募っていく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)

眠っている価値を活用しよう！ 「茅ヶ崎おひさまクレジット」

○事業について

住宅に設置した太陽光発電設備によって発電した電力のうち、自家消費された電力の「環境価値(CO₂排出削減量)」を取りまとめ、クレジット化(*)して市内企業等へ売却することで売却益を設備設置者に還元するという事業です(参加については条件があります)。

太陽光発電設備の設置世帯と市内企業等の双方がメリットを享受できることをねらいとしています。

(*) 自家消費された電力の「環境価値」を取引可能なクレジットとするためには、「J-クレジット制度」により認証を受ける必要があります。「J-クレジット制度」とは、太陽光発電・省エネルギー機器の導入や森林経営などの取り組みによるCO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として認証する制度で、国により運営されています。

茅ヶ崎おひさまクレジット事業で取りまとめた 「環境価値」を湘南国際マラソンで活用！

平成27年12月に開催された「第10回湘南国際マラソン」で、参加ランナーが着替えなどを入れるためのエコ袋(約2万6千枚)を製造する際に生じたCO₂5トン分の削減価値を、製造元である株式会社湘南貿易に1万5千円で購入していただきました。

今後も環境保全に取り組む事業者等のご協力を得ながら、一定額を積み立てた段階でクレジット事業にご参加いただいている市民の皆さんへの還元を図ります。



エコ袋のデザイン

重点施策29 市事業における省エネ機器・新エネルギーの積極的導入

概要

・行政活動に伴うエネルギー消費や温室効果ガス(※)の排出削減に向け、高効率照明器具や電気自動車の導入、夏季における緑のカーテン実施、新たな施設の建設における省エネ機器等の設置など、新技術を積極的に導入します。

平成27年度の取り組み

①行政活動に伴うエネルギー消費や温室効果ガスの排出削減に向けた新技術等の導入

事業名	取り組み結果	担当課
公共施設への緑のカーテン導入	・重点施策27をご参照ください。	
市役所新庁舎建設における省エネ機器等の導入	・太陽光発電設備30kW、コージェネレーションシステム25kW(2台)を導入し、庁舎の照明設備の電力源として活用しています。 ・庁舎照明にLED照明(※)を導入するとともに人感センサーを活用することで、効率的な運用を行っています。	環境政策課
特定規模電気事業者(PPS)の活用	・平成26年10月より引き続き市庁舎を始め45施設で特定規模電気事業者(PPS)による電力を活用しています。 ・PPS導入によるCO ₂ 排出削減効果は397tCO ₂ となります。(東京電力により同電力量を使用した際のCO ₂ 排出量と比較)	各施設所管課等(環境政策課)
公共施設への省エネ機器等の設置	・市庁舎建て替えに伴い、太陽光発電設備30kW、コージェネレーションシステム25kW(2台)、電気自動車急速充電機を設置しました。 ・南湖会館にLED照明14灯、LEDダウンライト7灯を設置しました。 ・市内5校(小学校4校、中学校1校)の照明227灯をLED照明に入れ替えました。 ・市内6校(小学校4校、中学校2校)の空調室外機10台を高効率空調室外機に入れ替えました。	各施設所管課等(環境政策課)
防犯灯事業におけるLED灯具の導入	・市内にLED防犯灯を544台設置しました。	安全対策課
環境事業センターのごみ焼却炉から発生する熱の有効利用	・ごみ焼却施設で発生した蒸気を利用し、1時間に最大1,800kW発電することで環境事業センターの電力を賄うとともに、余剰電力は売電しています。 ・平成27年度は12,845,054kWh発電し、そのうち売電した電力は5,076,320kWh、売電額は80,107,012円(1ヶ月約670万円)でした。 ・発生した熱エネルギーは、環境事業センター内の給湯や冷暖房のほか、茅ヶ崎市温水プールでも利用しています。	環境事業センター

平成27年度予算執行状況

事業名	27年度予算額	27年度決算額	(参考)26年度決算額	担当課
緑のカーテン設置事業	8千円	6千円	6千円	環境政策課
防犯灯のLED化事業	9,990千円	9,988千円	10,000千円	安全対策課
合計	9,998千円	9,994千円	10,006千円	

成果・課題と評価

成果	評価
<p>・省エネ設備の導入については、市役所本庁舎に太陽光発電設備を導入し既設と合わせて99,215kWh発電し、約50tCO₂削減できました。(スギ約3,571本分)に相当。)*14kg/本で換算(「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」環境省/林野庁より)</p> <p>・既設の設備と合わせ、総合計画基本構想第2次実施計画に基づき、予定どおりにLED防犯灯を設置し、CO₂の削減ができました。</p>	A
課題	<p>A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)</p>